

令和1年度事業報告

1. 事業概況

少子高齢化、ライフスタイルの多様化の中で、介護ニーズは複雑・高度化しています。これらのニーズに対応する福祉・介護人材が恒久的に不足している状況が継続し、人材確保が事業の安定的継続の重要なキーファクターの1つとなっています。

この様な環境下で、サービス活動収益はデイ部門低迷で前期比 1,900 千円減の 607,800 千円となり、サービス活動費用は経費節減もあり前期比 10,800 千円減の 601,400 千円となりました。結果、サービス活動利益は前期比 8,900 千円増の 6,400 千円と減収増益となりましたが投資有価証券(北陸電力株 1,000 株 2009,2010 年取得)の評価損 13,000 千円を計上し経常利益は前期比 3,900 千円減の▲6,600 千円となりました。

2. 事業別サービス活動収益内訳(単位 千円)

	R1 年度	H30 年度	増減
特別養護老人ホーム	339,800	339,400	400
ショートステイ	82,600	83,000	▲400
デイサービス	39,900	46,100	▲6,200
地域包括支援	23,100	23,200	▲100
居宅介護支援	26,400	27,000	▲600
ヘルパーステーション永楽	19,900	17,500	2,400
あすなろハウス永楽	76,100	73,500	2,600
計	607,800	609,700	▲1,900

3. 主要事業別概況

3-1 特別養護老人ホーム

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用者延人数	25,154	25,312	25,299
稼働率(%)	98.14	99.07	99.02
平均介護度	3.80	3.90	4.11

3-2 ショートステイ

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用者延人数	6,084	6,471	6,113
稼働率(%)	83.11	88.64	83.74
平均介護度	2.60	2.80	2.94

3-3 デイサービス

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用者延人数	5,487	6,331	6,113
稼働率(%)	50.25	58.50	65.34
平均介護度	1.80	1.70	2.03

3-4 あすなろハウス永楽

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用者延人数	17,498	17,351	17,233
稼働率(%)	99.6	99.70	99.00
平均介護度	1.60	1.70	2.03

※1稼働率算出方法＝延人数÷(年稼働日×定員数)

4. 主要指標

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
人件費(千円)	368,600	374,200	377,300
人件費率(%)	60.6	61.4	61.9
水道光熱費率(%)	6.9	6.3	6.1
業務委託比率(%)	6.8	7.3	7.7
減価償却費率(%)	11.5	7.4	7.8
修繕比率(%)	0.8	0.4	0.3
総職員数(期首)	118	109	108
常勤職員数	84	90	93
非常勤職員数	29	19	15
非常勤比率(%)	24.5	17.4	13.9
※産休職員数	5	1	2

5. 借入金一覧

	借入金額	年返済額	残額	完済年	借入先
サ高住建設資金	200,000	8,340	128,265	2037 年	北陸銀行
サ高住建設資金	200,000	8,340	128,265	2037 年	医師信用組合
あすなろの郷建設資金	423,000	21,150	84,600	2023 年	福祉医療機構

6. 主なる取り組み

- ・会計事務所の変更と会計ソフトの変更
- ・AP2019(3年でアクシデント件数を半減)を再キックオフし削減目標前年比20%達成
- ・あすなろハウス永楽の食事形態をクックチル方式に切り替え
- ・移乗ロボット「Hugu」2台購入(富山県助成金申請)
- ・職員旅行を実施
- ・研究発表会、5S活動発表会、層別教育、秋祭り、クリスマス会等イベント開催

7. 対処すべき課題

- ・新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策
- ・BCP(事業継続計画)の策定
- ・デイサービス部門の収益改善
- ・あすなろの郷の井水給湯管の取り換え修繕
- ・あすなろハウス永楽の空調設備の見直しと更新
- ・Wi-Fi環境の整備とICT化推進
- ・5S活動と3M活動による生産性向上